

## 会長挨拶

---

### 第7回日本臨床薬理学会近畿地方会開催にあたり

このたび、第7回日本臨床薬理学会近畿地方会を、2024年9月28日(土)にブリーゼプラザ小ホール(大阪市)にて、「いのち輝く未来につなぐ臨床薬理実学」をテーマに開催させていただき運びとなりました。

臨床薬理学は、科学的な「合理的薬物治療」を志向する学際領域であり、薬物治療の有効性と安全性を最大限に高め、個々の患者さんに最良の治療を提供することを目指しています。近年の医学・生命科学研究の進展によって、疾患の分子機構の解明が進んだ結果、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などの革新的医薬品が数多く開発され、臨床導入されるに至りました。これにより、がんの薬物療法は、目覚ましい進歩を遂げて個別化医療の推進に大きく貢献することとなりました。更に、ICT技術を駆使したデータサイエンスの急速な深化によって、人工知能、コンピュータシミュレーション、バイオインフォマティクスなどのモダリティーが融合し、副作用の予測、医薬品の効果の最適化なども実現可能となりつつあります。その一方で、現在のわが国の臨床試験を取り巻く環境は、世界的潮流の影響を受けて、重大な変革期を迎えています。具体的には、DX(デジタルトランスフォーメーション)、DCT(分散型臨床試験)、PPI(臨床試験への患者・市民参画)、GCPリノベーション、QMS(品質マネジメントシステム)、臨床研究法や生命・医学系倫理指針改正など、喫緊の課題への対応が求められています。しかしながら、われわれは、臨床薬理学に課せられた「生命科学の成果を病める人に薬として届ける」という使命を見失うことなく、これらの課題に向き合っていかなければなりません。わが国から新しい創薬を継続的に創出していくために、本学会および学術集会の果たす役割は、今後益々重要になっていくものと考えます。

本学術集会が、臨床、研究、医薬品開発など様々な立場で薬に関わられている方々にとって有意義な会となりますよう準備を進めて参りましたので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

令和6年9月吉日

第7回日本臨床薬理学会近畿地方会 会長  
近畿大学病院 臨床研究センター 教授

**福岡 和也**

# 2024年9月28日(土) タイムテーブル

ブリーゼプラザ 小ホール	
11:00	11:00 ~ 12:15  <b>世話人会</b>
11:15	
11:30	
11:45	
12:00	
12:15	12:30 ~ 12:35 <b>開会のご挨拶</b> 12:35 ~ 13:20 <b>【レギュラトリー・サイエンス セッション】</b> 再生医療を巡るレギュラトリー・サイエンス 座長：平瀬 主税 演者：森田 和機
12:30	
12:45	13:25 ~ 14:10 <b>【臨床薬理 セッション】</b> 悪性腫瘍治療薬の薬物動態を学ぶ 座長：藤尾 慈 演者：今村 知世
13:00	
13:15	
13:30	
13:45	
14:00	14:20 ~ 15:20 <b>【CRC セッション】</b> CRCの有害事象「逸脱過敏症」グレード2 ～転帰「回復」を目指して～ 座長：小林 和子 演者：山田 真規子 板垣 諄 西田 千聡
14:15	
14:30	
14:45	
15:00	
15:15	15:30 ~ 16:30 <b>【イブニングセミナー】</b> 日本型治験・臨床研究DXの未来. 欧米モデルの現状と 日本型DXを施設と共創する治験・臨床研究DXの環境整備 座長：福岡 和也 演者：猪川 崇輝 前島 哲平 共催：株式会社Buzzreach
15:30	
15:45	
16:00	
16:15	
16:30	16:40 ~ 17:15 <b>【患者・市民参画 (PPI) セッション】</b> わが国初の患者提案型医師主導治験の奇跡をたどる 座長：武田 真幸 演者：長谷川 一男
16:45	
17:00	
17:15	
17:30	
17:45	
18:00	
18:15	
18:15	18:10 ~ 18:15 <b>閉会のご挨拶</b>



## 第7回 日本臨床薬理学会 近畿地方会

いのち輝く未来につなぐ臨床薬理実学

会期：2024年9月28日(土)

### プログラム Program

11:00-12:15 世話人会

12:30-12:35 開会のご挨拶

会長：福岡 和也(近畿大学病院 臨床研究センター 教授)

12:35-13:20 [レギュラトリー・サイエンス セッション] 再生医療を巡るレギュラトリー・サイエンス

座長：平瀬 主税(近畿大学病院 臨床研究センター 講師)

再生医療等安全性確保法と再生医療等技術に対する研究推進について

演者：森田 和機(厚生労働省 医政局 研究開発政策課 再生医療等研究推進室 主査)

13:20-13:25 休憩

13:25-14:10 [臨床薬理 セッション] 悪性腫瘍治療薬の薬物動態を学ぶ

座長：藤尾 慈(大阪大学大学院薬学研究科 臨床薬効解析学分野 教授)

抗がん薬のPK 規定因子を指標とした個別化投与の確立

演者：今村 知世(昭和大学 先端がん治療研究所 准教授)

14:10-14:20 休憩

14:20-15:20 [CRC セッション] CRCの有害事象「逸脱過敏症」グレード2～転帰「回復」を目指して～

座長：小林 和子(近畿大学病院 臨床研究センター 治験管理部門 主任)

逸脱発生！？その時CRCは・・・

演者：山田 真規子(和歌山県立医科大学附属病院 臨床研究センター 治験管理部門 主査)

恐れすぎるな、逸脱～CRAは逸脱をこう見ている～

演者：板垣 諄(株式会社新日本科学PPD クリニカルオペレーション CRA)

逸脱はどう処理されるのか、データへの影響

演者：西田 千聡 (MSD株式会社 グローバル研究開発本部  
クリニカルクオリティマネージャー)

15:20-15:30 休憩

15:30-16:30 [ イブニングセミナー ] 日本型治験・臨床研究DXの未来. 欧米モデルの現状と日本型DXを施設と共創する治験・臨床研究DXの環境整備

座長：福岡 和也 (近畿大学病院 臨床研究センター 教授)

イントロダクション

講演①

海外 (DX・DCT) 環境のインプットと施設主導で行うDXについて安全で質の高い治験・臨床研究を効率的に推進していくために必要不可欠要素とは

演者：猪川 崇輝 (株式会社 Buzzreach CEO)

講演②

AIが切り拓く臨床試験DXの未来. プロトコル理解による治験文書の自動化とデータ標準化で実現する試験効率化と新たなデータマネジメントの時代

演者：前島 哲平 (株式会社 Buzzreach CPO)

共催：株式会社 Buzzreach

16:30-16:40 休憩

16:40-17:15 [ 患者・市民参画 (PPI) セッション ] わが国初の患者提案型医師主導治験の奇跡をたどる

座長：武田 真幸 (奈良県立医科大学 がんゲノム・腫瘍内科学講座 教授)

わが国初の患者提案型医師主導治験の奇跡をたどる

演者：長谷川 一男 (NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ 理事長)

17:15-17:20 休憩

17:20-18:10 [メディカル・オンコロジーセッション] がんゲノム医療の現況と展望を考える

司会：高濱 隆幸（近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門/同病院 ゲノム医療センター 講師）

がん遺伝子パネル検査の現状と課題～オーバービュー～

演者：高濱 隆幸（近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門/同病院 ゲノム医療センター 講師）

がん遺伝子パネル検査の現状と課題～薬剤師の立場から～

演者：木寺 康裕（近畿大学病院 臨床研究センター 治験管理部門 技術科長代理）

がん遺伝子パネル検査の現状と課題～腫瘍内科医の立場から～

演者：稲垣 千晶（近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門 講師）

共催：「ファイザー公募型医学教育プロジェクト助成」、

文部科学省・大学教育再生戦略推進費「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」

「阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン（近畿大学拠点）」

18:10-18:15 閉会のご挨拶

会長：福岡 和也（近畿大学病院 臨床研究センター 教授）